

# 月刊ウィーン

現地オリジナル取材と編集で  
ウィーンを伝える月刊情報紙  
特集：創刊20年突入記念エッセイ  
創刊1989年 No.229

## GEKKAN-WIEN 2008年7月号



マルティン・ファン・マイテンス（二六九五年ストックホルム生）一七七〇年ウィーン没 『大公妃マリー・クリスティーネ』 一七六五年頃 カンヴァスに油彩 © Bevedere, Wien  
ベルヴェデーレ上宮 新常設展「バロック・コレクション」Oberes Bevedere: Neuaufstellung der Sammlung Barock にて展示

# 杉本純のウィーン



「月刊ウィーン」創刊二十年目突入おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

私とウィーンとの関わりは一九九二年五月に国際原子力機関（IAEA）で開催された安全条約会合に参加した十六年前にさかのぼる。政府代表団の支援要員だったが、我々、原子力の世界ではIAEAがあるウィーンは言わば聖地であり、そこでの大きな国際会議に参加する高揚した気分を昨日のように覚えている。連夜、会議のメモを作成してフアクスで日本に送付した。会議終了後の土曜日に日本原子力研究所から出向しているIAEA職員に案内してもらったシェーンブルン宮殿の黄色と芝生の緑が眩しかった。二回目のウィーン訪問は同会合が開催された一九九三年一月雪が舞うケルントナー通りが非常に寒かった記憶がある。その後十一年間ウィーンを訪れる機会はなかったが、二〇〇四年四月にウィーン事務所長として赴任し、二〇〇七年三月まで三年間ウィーンで過ごすことになり、ウィーンとは強い絆で結ばれていたことになる。



ウィーンは「音楽の都」として有名だが、美術館も質量ともに充実している。欧州最大級の美術史博物館は、ハプスブルク家が収集した美術品を多数所蔵しており、ルーベンス、プリューゲルのコレクションを中心に、ラファエロ、レンブラント、ベラスケス、デューラーら巨匠の作品は必見である。特に、フェルメールの「絵画芸術」は一番のお勧めである。

美術館内の豪華ながら落ち着いた雰囲気が入り込んでおり、二階のカフェ・ゲルストナーで一休みすると贅沢な気分になることが出来る。ベルヴェデーレ宮殿内の上宮は、モネ、マネなどの印象派、クリムト、エゴン・シーレ、ゴッホ、コシユカといった世紀末美術の作品を多

数所蔵している。クリムトの有名な「接吻」も素晴らしいが、エゴン・シーレの「死と乙女」も感動を与える名作である。宮殿内部の調度類や噴水のある庭園も絶品の美しさである。



二〇〇四年春に再オープンしたアルベルティーナ美術館は、デューラーの「野うさぎ」が有名であるが、ダ・ヴィンチ、ラファエロ、ミケランジェロ、ルーベンス、レンブラントらの版画や素描を多数所蔵していることも特記される。二〇〇七年五月には、バトライナー・コレクシオン約五百点が永久貸与され、オーストリアの美術館には少なかったモネ、ルノアール、ドガ、セザンヌ、モディリアーニ、シャガール、ピカソなどの近代美術作品が極めて充実した。筆者は昨年暮に見る機会があったが、パリのオルセー美術館と甲乙付け難いと思った。印象派画家のファンが多い日本人には特にお勧めと言える。

造形美術アカデミー絵画館は、造形美術学校の三階にひっそりとあり、ヒロエニムス・ポツシユの大作「最後の審判」の他、ポツティチェリの「聖母子」を始め、ルーベンス、レンブラント、ルーカス・クラナッハらの珠玉の小品を堪能できる。この美術学校に若きヒトラーが二回も受験に失敗したことは有名であるが、訪れる人は少なくウィーンの穴場と言える。二〇〇二年六月にオープンしたミュージアム・クオーター内のレオポルト美術館は、世界最大規模のエゴン・シーレのコレクションとクリムトやコシユカなどの作品が充実している。リヒテンシュタイン美術館では、最大級のルーベンス・コレクシオン、



ファン・ダイクやクラナッハ、そしてラファエロの主要な作品に加えて、レンブラント、ハミルトンの作品などが楽しめる。この他、クリムトの大作「ペートル・ヴェン・フリーズ」が展示されている分離派会館、フンデルトヴァッサーの奇抜な作品を展示するクンストハウスなども一見の価値がある。



音楽では、オペラ座や楽友協会が有名過ぎるので省くとして、七月八月に市庁舎前の広場で開催される「ムジックフィルム・フェスティバル」はお勧めである。大きなスクリーンにオペラやバレエ、コンサートなど著名な音楽が上映される。入場は無料、広場のフードスタンドでは、世界の料理とビールやワインが楽しめる。変わった所では、国際ソフトボールリーグで今年六月にリーグ創立以来負けなしの三連覇を達成した「チームジャパン」（月刊ウィーン）本年三月月号参照）がある。一期目に筆者も関係したので愛着はあるが、ウィーンでソフトボール



観戦など余程のモノ好きにしか勧められない。筆者は旅先でスケッチをするのが趣味の一つであり、ウィーン滞在中は街角でよく水彩画を描いた。美術館を中心にいくつか紹介する。素人画で恐縮だが、雰囲気は少しでも伝われば望外の喜びである。

■杉本純（日本原子力研究開発機構 原子力研修センター長 前ウィーン事務所長）

**空港送迎は快適なメルセデスベンツで**  
 VIP VIENNA TOURIST SERVICE Tel. 0676-700 3728 (英独)  
 片道 32 ユーロから 日本語でのご予約はお早めに gekkan@utanet.at  
 観光や商用にお気軽にご利用下さい。ブラハやブダペストなど各地にも参ります。

日本語観光バス 詳細は 10 頁

**HIS** ウィーン支店  
 航空券・ホテル・コンサートチケット  
 TEL: 01 587-1073  
 e-mail: vienna@his-austria.at  
 営業時間: 月～金 09:00～17:30 www.his-austria.at

**My bus** 日本語定期観光バス  
 美しい自然と文化遺産の数々を 日本語ガイドが親切に説明致します。

- ウィーン市内半日観光 毎日 9 時出発
- ウィーンの森半日観光 毎日 14 時出発
- ヴァツハウ渓谷 1 日観光 日火木
- ウィーンナイトツアー 毎日
- 鉄道の旅 ザルトツブルク市内観光 毎日
- 鉄道の旅 ザルトツカンマーゲート 毎日
- ウォーキング・美術史博物館 火木土
- ミュージック・ウォーキングツアー 日水金

完全予約制

ネットトラベルサービスではコンサートチケットやマイルクーポン、列車のチケット等の手配も承っております。下記HPをご参照下さい。

www.enjoyaustria.net

**『みゆう』** 毎日催行・現地発ツアー&チケット手配  
 ウィーン市内観光・ウィーンの森半日観光 他 (要予約)  
 『みゆう』インフォメーション・センター  
 TEL: (01) 513 9588 (日本語)  
 土日祝日を除く毎日 8:30-11:00 (12月25日と1月1日は休業)  
 OPERNRING 4 (Elite Tours 内) 国立オペラ座横  
 MIKI TRAVEL VIENNA 月～金 (9:00-17:30)  
 TEL: (01) 310 2188-18  
 myu@mikivie.at www.myushop.net